

安全データシート

【GHS6版、JIS Z 7252(2019)、JIS Z 7253(2019)に準拠】

作成: 2025年 3月27日

改訂: 2026年 2月 5日

1. 製品及び会社情報

整理番号 : KH204-01
製品名 : クリアシーブ乳剤
会社名 : クミアイ化学工業株式会社
住所 : 東京都台東区池之端1-4-26
担当部門 : サステナビリティ推進部 レスポンシブル・ケア推進課
電話番号 : 03-3822-5180
FAX番号 : 03-3823-6830
緊急連絡先 : 平日 午前9時～午後5時 (電話番号03-3822-5180)
推奨用途 : 農薬(最終有効年月まで)
使用上の制限 : 推奨用途以外への使用を禁ずる。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類
健康に対する有害性
急性毒性(経口) : 区分4
皮膚腐食性/刺激性 : 区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分1
発がん性 : 区分2
生殖毒性 : 区分1B
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分3(気道刺激性)
誤えん有害性 : 区分1
環境に対する有害性
水生環境有害性 短期(急性) : 区分1
水生環境有害性 長期(慢性) : 区分1

上記で記載がない危険有害性は、「区分に該当しない」か「分類できない」。

GHSラベル要素
絵表示又はシンボル



注意喚起語 危険

危険有害性情報

H302 飲み込むと有害
H315 皮膚刺激
H318 重篤な眼の損傷
H351 発がんのおそれの疑い
H360 生殖能または胎児への悪影響のおそれ
H335 呼吸器への刺激のおそれ
H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
H400 水生生物に非常に強い毒性
H410 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【安全対策】

P201 使用前に取扱説明書を入手すること。

- P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- P204 取り扱い後はよく洗うこと。
- P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
- P271 屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。
- P273 環境への放出を避けること。

【応急措置】

- P301+P330+P331+P310 飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。口をすすぐこと。
- P305+P351+P338+P310 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
- P302+P352 皮膚に付着した場合:多量の水で洗うこと。
- P332+P313 皮膚刺激が生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。
- P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- P308+P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診察/手当てを受けること。
- P304+P340 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- P312 気分が悪いときは、医師に連絡すること。
- P391 漏出物を回収すること。

【保管】

- P405 施錠して保管すること。
- P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

【廃棄】

- P501 内容物、容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

他の危険有害性

- ・ 製造時に粉じん爆発性の高い成分及び原材料を使用する際は、粉じん爆発に注意し、適切な処置を施すこと。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別:混合物

化学名/一般名:

(S)-2-クロロ-N-(2, 4-ジメチル-3-チエニル)-N-(2-メトキシ-1-メチルエチル)アセトアミド/一般名:ジメテナミドP
 3-[(5-ジフルオロメトキシ)-1-メチル-3-(トリフルオロメチル)ピラゾール-4-イルメチルスルフォニル]-4, 5-ジヒドロ
 -5, 5-ジメチル-1, 2-オキサゾール/一般名:ピロキサスルホン
 3-(3, 4-ジクロロフェニル)-1-メトキシ-1-メチル尿素/一般名:リニュロン

成分情報

成分:		含有量 (W/W)
	ジメテナミドP	7.2 %
	ピロキサスルホン	1.2 %
	リニュロン	9.6 %
その他成分:	有機溶剤、界面活性剤等	82.0 %
<合計>		100.0 %

危険有害成分:

	含有量 (W/W)
ジメテナミドP	7.2 %
リニュロン	9.6 %
ソルベントナフサ(石油ナフサ)	32.0 %
ジメチルスルホキシド	5.0 %
ナフタレン	0.3 %

化学式：
 ジメテナミドP / C₁₂H₁₈ClNO₂S
 ピロキサスルホン / C₁₂H₁₄F₅N₃O₄S
 リニュロン / C₉H₁₀Cl₂N₂O₂
 ソルベントナフサ(石油ナフサ) / 特定不可能
 ジメチルスルホキシド / (CH₃)₂SO
 ナフタレン / C₁₀H₈

官報公示整理番号：安衛法	ジメテナミドP	8-(6)-291
	ピロキサスルホン	8-(7)-1432
	リニュロン	4-(13)-44
化審法	リニュロン	3-2193
	ジメチルスルホキシド	2-1553
	ナフタレン	4-311

CAS RN [®]	163515-14-8	／ ジメテナミドP
	447399-55-5	／ ピロキサスルホン
	330-55-2	／ リニュロン
	64742-94-5	／ ソルベントナフサ(石油ナフサ)
	67-68-5	／ ジメチルスルホキシド
	91-20-3	／ ナフタレン

4. 応急措置

吸入した場合：被災者を直ちに新鮮な空気のある場所に移動し、衣服をゆるめて深呼吸させる。多量に吸入した場合は医療処置を受ける。

皮膚に付着した場合：汚染した衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分を水又はぬるま湯で十分に洗い流し、石鹼を使って洗浄する。揮発した蒸気は吸入しないよう注意する。製品には有機溶剤が含まれているため、火気に注意する。

眼に入った場合：直ちに清浄な流水で十分に洗眼し、医療措置を受けること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の洗眼が遅れたり、不十分な場合は目に損傷が発生することがある。

飲み込んだ場合：被災者を安全な場所に移動し、直ちに医療措置を受ける。無理に吐き出させるとかえって危険が増すこともあるため、水でよく口の中を洗わせてもよい。乳剤に含まれている有機溶剤による中毒も考慮する。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状：情報なし。

応急措置をする者の保護：救助者は状況に応じて適切な保護具を着用する。(「8. ばく露防止及び保護措置」を参照)。

医師に対する特別注意事項：治療方針を決定する際の問い合わせ先：(財団法人)日本中毒情報センター(「16. その他の情報」を参照)。医師の手当てを受ける時は、本SDSを提示する等、本製品に関する情報を医師に提供する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤：霧状の強化液、泡、不活性ガス、ハロゲン化物、消火粉末(りん酸塩類、炭酸水素塩類)を放射する消火器、乾燥砂、膨張する石又は膨張真珠岩等。

使ってはならない消火剤：棒状放水。

特有の危険有害性：燃焼又は高温により刺激性、腐食性又は毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法：危険でなければ火災区域から容器を移動する。消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火活動上の注意：火災発生場所の周辺には、関係者以外の立ち入りを禁止する。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行うこと。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置：燃焼又は高温により有毒なガスが生成するおそれがあるため、適切な自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行うこと。燃焼源の供給を速やかに止めること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離し、関係者以外の立ち入りを禁止する。風下の人を退避させ、屋内の場合は回収処理が終わるまで十分に換気を行うこと。

作業の際には保護具(8. ばく露防止及び保護措置欄参照)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、吸入しないよ

うにする。適切な防護具を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。
環境に対する注意事項:流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意すること。
封じ込め及び浄化の方法及び機材:危険な状態でなければ漏れを止め、漏出物を回収し、排水溝、下水溝等への流出を防ぐ措置を取る。少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。
大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
二次災害の防止策:全ての発火源を速やかに取り除く(近傍での喫煙、火花や火災の阻止)。危険でなければ、漏出物を速やかに回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策:『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、防護具を着用すること。

局所排気・全体換気:『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行うこと。

安全取扱い注意事項:全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。取扱いは換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散がないようにし、みだりに蒸気、ミストを発生させない。吸入を避け、皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼との接触を避けること。取扱いの際は飲食または喫煙をせず、取扱い後は手や付着部分をよく洗うこと。

周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。電気機器類は防爆型(安全増型)のものを用いる。工具は火花防止型のものを用いる。

接触回避:情報なし。『10. 安定性及び反応性』を参照。

保管

技術的対策:消防法の規制に従う。排水管や下水管へのアクセスのない場で貯蔵すること。

混触危険物質:情報なし。『10. 安定性及び反応性』を参照。

安全な保管条件:直射日光が当たらない冷暗所に施錠して保管すること。異種物質の混入を避け、火気、熱源から隔離すること。多量の危険物の貯蔵は法令による所定の貯蔵庫に類別して貯蔵する。

安全な容器包装材料:包装、容器の規制はないが、破損していない密閉式の容器を使用すること。

取扱い上の注意:取扱いは換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散がないようにし、みだりに蒸気を発生させない。

発散した蒸気を吸い込まないようにし、取扱いの都度、容器を密閉する。皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないようにする。休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後に手、顔等をよく洗う。粉塵を発生させない。

8. ばく露防及び保護止措置

管理濃度(厚生労働省)

製品:未設定

成分:ナフタレン 10ppm(特化則特定第2類物質、特別管理物質)

許容濃度(日本産業衛生学会 2025年度)

成分:未設定

許容濃度(ACGIH 2025年)

成分:ジメテナミドP TLV-TWA 0.2mg/m³(Inhalable fraction and vapor)

成分:ナフタレン TLV-TWA 10ppm(Skin)

許容濃度(BASF recomm. occupational exposure limit)

成分:ジメテナミドP TWA 0.54mg/m³

設備対策:取扱いについては、局所排気内または全体換気装置のある場所で取り扱う。有害物が環境中へ放出されないように、排気装置には除害設備を設ける。取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための施設を設け、位置を明瞭に表示すること。

防護具:選定にあたり「皮膚障害等防止用防護具の選定マニュアル(2025年3月第2版 厚生労働省)」を参考にすること。

呼吸用防護具:作業状況に応じた適切な防じんマスク、防毒マスクを着用する(JIS T8151、JIS T8152に適合する防じんマスク、有機ガス用防毒マスク、農業用マスク等)

手の防護具:作業状況に応じた適切な不浸透性の保護手袋(ブチルゴム、フッ素ゴム/ブチルゴム、多層フィルム(直鎖低密度ポリエチレンラミネートフィルム)等の素材を推奨。選定にあたっては、必要に応じて防護具メーカーから情報を入手すること。

眼の防護具:作業状況に応じた適切な保護眼鏡(側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)を使用すること。

皮膚及び身体の防護具:作業に適した作業着を着用或不浸透性の保護衣、長靴を着用すること。

衛生対策

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。取扱い後は手や付着した部分をよく洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 可乳化油状液体
色	: 黄色～黄赤色透明
臭い	: データなし。
pH	: 4.7(100倍希釈)
融点／凝固点	: データなし。
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: データなし。
引火点	: 122 °C(クリーブランド開放式)
自然発火点	: データなし。
可燃性	: データなし。
爆発下限及び爆発限界上限界／可燃範囲	: データなし。
相対ガス密度	: データなし。
蒸気圧	: データなし。
密度及び／又は相対密度	: 1.007g/cm ³ (20°C)
溶解度	: データなし。
n-オクタノール／水分配係数(log値)	: データなし。
粘度	: データなし
分解温度	: データなし
粘度	: 9.8mPa・s(20°C)
動粘性率	: 9.73(20°C)
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし。
化学的安定性	: 通常の保管環境下で安定。
危険有害反応可能性	: データなし。
避けるべき条件	: データなし。
混触危険物質	: データなし。
危険有害な分解生成物	: データなし。

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: ラット LD ₅₀ 300-2,000 mg/kg	「区分4」
急性毒性(経皮)	: ラット LD ₅₀ >2,000 mg/kg	「区分に該当しない」
急性毒性(吸入:ガス)	: GHS分類上の気体ではない。	「区分に該当しない」
急性毒性(吸入:蒸気)	: データなし。	「分類できない」
急性毒性(吸入:ミスト)	: データ不足。	「分類できない」
急性毒性(吸入:粉じん)	: GHS分類上の固体ではない。 (参考)ジメテナミドP: ラット LC ₅₀ : >5.16mg/L (参考)ピロキサスルホン: ラット LC ₅₀ : >6.56mg/L	「区分に該当しない」
皮膚腐食性／刺激性	: ウサギ 強度刺激性、14日間で完全に回復しない。	「区分2」
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: ウサギ 強度刺激性、21日間で完全に回復しない。 (参考)散布用200倍水希釈液はウサギ眼に対して刺激性なし。	「区分1」
呼吸器感作性	: データなし。	「分類できない」
皮膚感作性	: モルモット 陰性。	「区分に該当しない」
生殖細胞変異原性	: データ不足。	「分類できない」
発がん性	: 混合物としてのデータなし。区分2に分類される	「区分2」

	成分を混合物中にカットオフ値/濃度限界以上含むことから「区分2」とした。	
生殖毒性	: 混合物としてのデータなし。区分1Bに分類される成分を混合物中にカットオフ値/濃度限界以上含むことから「区分1B」とした。	「区分1B」
授乳を介した影響	: データ不足。	「分類できない」
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 混合物としてのデータなし。区分3(気道刺激性)に分類される成分を混合物中にカットオフ値/濃度限界以上含むことから「区分3(気道刺激性)」とした。	「区分3(気道刺激性)」
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 混合物としてのデータなし。区分2(神経系、肝臓、腎臓、心臓、膀胱)及び区分2(血液系)に分類される成分を混合物中に含むが、カットオフ値/濃度限界未滿。データ不足であり「分類できない」とした。	「分類できない」
誤えん有害性	: 区分1に分類される成分を混合物中にカットオフ値/濃度限界以上含むことから「区分1」とした。 (参考)混合物の動粘性率:9.73(20℃)	「区分1」

12. 環境影響情報

水生環境有害性

混合物としてのデータなし。混合物中に含有されている成分の利用可能な下記のデータに基づき、水生環境有害性 短期(急性)及び長期(慢性)はいずれも「区分1」とした。

生態毒性

魚 : 混合物データなし。

【ジメテナミドP】

コイ	LC ₅₀ (96hr)	11 mg/L
ブルーギル	LC ₅₀ (96hr)	9.5 mg/L
ニジマス	LC ₅₀ (96hr)	5.7 mg/L

【ピロキサスルホン】

コイ	LC ₅₀ (96hr)	>3.75 mg/L
ブルーギル	LC ₅₀ (96hr)	>2.78 mg/L
ニジマス	LC ₅₀ (96hr)	>2.14 mg/L

【リニュロン】

コイ	LC ₅₀ (96hr)	6.07 mg/L
----	-------------------------	-----------

甲殻類 : 混合物データなし。

【ジメテナミドP】

オオミジンコ	EC ₅₀ (48hr)	11 mg/L
--------	-------------------------	---------

【ピロキサスルホン】

オオミジンコ	EC ₅₀ (48hr)	>4.37 mg/L
--------	-------------------------	------------

【リニュロン】

オオミジンコ	EC ₅₀ (48hr)	1.9 mg/L
--------	-------------------------	----------

藻類 : 混合物データなし。

【ジメテナミドP】

緑藻類	EC ₅₀ (72hr)	: 29 μg/L
-----	-------------------------	-----------

【ピロキサスルホン】

緑藻類	EC ₅₀ (72hr)	: 0.743 μg/L
-----	-------------------------	--------------

【リニュロン】

緑藻類	EC ₅₀ (72hr)	: 35 μg/L
-----	-------------------------	-----------

残留性／分解性	: 混合物としてのデータなし。	
生体蓄積性	: 混合物としてのデータなし。	
土壤中の移動性	: 混合物としてのデータなし。	
オゾン層への有害性	: データなし。	「分類できない」
その他	: 除草剤であり、植物に影響がある。 : 水産動物に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。	

13. 廃棄上の注意

使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。容器の洗浄水等は直接排水溝や河川等に流さず、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。残余廃棄物の廃棄処理を委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に、危険性、有害性を十分に告知の上処理を委託する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後適切に処分する。

14. 輸送上の注意

移送取扱いは丁寧に行う。

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に。車輛、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

国際規制

国連番号(UN number)	: 3082
国連輸送名(Proper shipping name)	: 環境有害物質 (液体) N.O.S. (ジメテナミドP、ピロキサスルホン、リニュロン混合物)
国連分類(Class)	: クラス9(有害性物質) 容器等級Ⅲ
容器等級(Packing Group)	: Ⅲ



海洋汚染物質(Marine pollutant) : 該当

国内規制

海上規制情報	: 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	: 航空法の規定に従う。
陸上規制情報	: 消防法、毒物及び劇物取締法、道路法等で該当する法律の規定に従う。
特別安全対策	: 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
緊急時応急措置指針番号	: 171

15. 適用法令

農薬取締法	: 該当
消防法	: 危険物 第4類第3石油類(水溶性液体)
労働安全衛生法	
有機則 第3種有機溶剤	: 石油ナフサ
施行令第18条(表示対象物質)	: ジメテナミドP(7.2%) (安衛則別表第2の499) : リニュロン(9.6%) (安衛則別表第2の827) : 石油ナフサ(32.0%) (安衛則別表第2の1142) 【2026年4月1日以降】 : ジメチルスルホキシド(5.0%) (安衛則別表第2の1035)
施行令第18条の2(通知対象物質)	: ジメテナミドP(7.2%) (安衛則別表第2の499) : リニュロン(9.6%) (安衛則別表第2の827) : 石油ナフサ(32.0%) (安衛則別表第2の1142)

	: ナフタレン(0.3%)(安衛則別表第2の1449)
	【2026年4月1日以降】
	: ジメチルスルホキシド(5.0%)(安衛則別表第2の1035)
安衛則第594条の2(不浸透性の保護具等、適切な保護具使用の義務)	
	: 皮膚刺激性有害物質 ジメテナミドP(7.2%)
強い変異原性が認められた化学物質	: ナフタレン(2004/08/27通達 別紙2-4)
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	: 第一種指定化学物質 613号 ジメテナミドP(7.2%)
	: 第一種指定化学物質 174号 リニユロン(9.6%)
	: 第一種指定化学物質 302号 ナフタレン
毒物及び劇物取締法	: 非該当
船舶安全法	: 危規則第2, 3条危険物告示別表第1:有害性物質
航空法	: 施行規則第194条危険物告示別表第1:その他の有害物件
海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律	
	: 海洋汚染物質
水質汚濁防止法	: 非該当
土壌汚染対策法	: 非該当
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	: 産業廃棄物

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取扱いを対象としたものであり、特別な取扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

引用文献:	1) JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法
	2) GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針 2019年6月 社団法人 日本化学工業協会
	3) GHS文書 改訂第6版(2015年)
	4) GHS分類ガイダンス(Ver.2.1) 経済産業省(令和6年5月)
	5) 許容濃度等の勧告(日本産業衛生学会2025年度)
	6) 2025 TLVs [®] &BEIs [®] (ACGIH)
	7) 資材メーカー提供「安全データシート」
	8) NITE-CHRIP 有害性・リスク評価情報

作成部署以外の連絡先

(財団法人)日本中毒情報センター

大阪(年中無休、24時間)	一般市民向け相談電話(無料)	072-727-2499
	医療機関専用有料電話	072-726-9923
つくば(年中無休、24時間)	一般市民向け相談電話(無料)	029-852-9999
	医療機関専用有料電話	029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。

※ 弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の利用料(1件 2,000円)は弊社が負担いたします。